

今月は・・・ 緑のカーテン特集

古来より家庭を始め公共施設や学校、近年では企業でも取り入れるところが増加している「緑のカーテン」についてお話したいと思います。

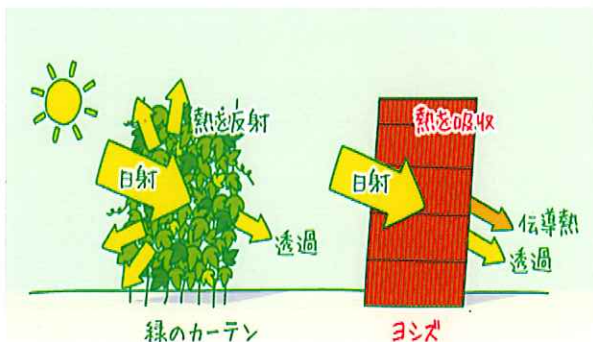
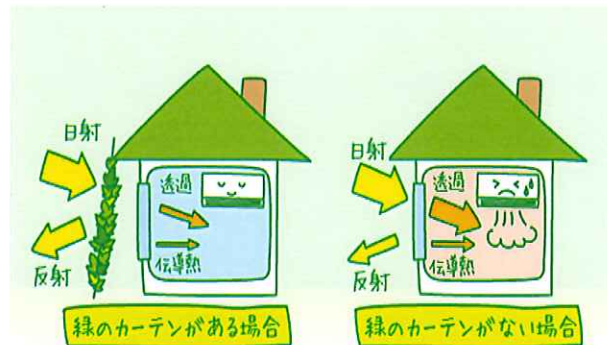
緑のカーテンには省エネ効果があるといわれていますが、実際にどのような効果があるのでしょうか。ここでは、2つの効果についてご説明します。

緑のカーテンがない部屋では、日光をさえぎるものがないので、太陽の熱によって壁やガラスがあたためられます。よって結果的に部屋の温度が高くなります。

一方、緑のカーテンがあると、日光をさえぎり、熱の原因となる赤外線のを多くを反射するため、部屋の中の温度を低く保つことができます。

エアコンの冷房を同じ温度に設定しても、温度が高い部屋はその分だけ負荷がかかるため、電力を多く消費します。

緑のカーテンは、エアコンの消費電力をおさえるという省エネ効果があります。



夏の日差しをさえぎる道具として、日本には昔からヨシズがあります。緑のカーテンもヨシズも同じ植物ですが、一番大きな違いは、緑のカーテンは生きているということです。

ヨシズは、乾燥させた植物の茎を編んでつくったものです。日光をさえぎることはできても、長時間日光にあたっているとヨシズ自体があたまり、その熱を部屋の中に伝えてしまいます。

一方、緑のカーテンは地面から吸い上げた水を茎の中に蓄え、葉の表面から水を蒸発させ、自分自身が熱くならないように工夫しています。

それが植物のラジエーター効果です。

これからの季節、気温はどんどん上昇していきます。
まだ緑のカーテンを試していないようでしたら、この機会に試してみたいはかがですか。

ちなみに・・・



曙製作所も
緑のカーテン
実施中！！
(もうすぐ完成！)